

シルクデニット糸およびその製造方法

発明の名称 「交絡型嵩高集束糸およびその製造方法」

公開番号 特開 2018-165413 (P2018-165413A)

出願人 福島県

【主な特徴】

筒編状に編成した加工糸を解編（デニット）してストレッチ性、嵩高性、ソフト性を付与した交絡型嵩高集束糸およびその製造方法に関する技術。

【従来技術の課題・問題点】

絹糸に伸縮性、嵩高性を付与する方法としては、生糸を強撚加工し、湿式延伸処理、精練染色、熱処理後に解撚する手段で、機能性を付与する方法が様々開示されています。しかし従来の方法では、解撚処理によりある程度の機能性は期待できるものの、強撚後に破断伸度付近まで延伸すると、強伸度の低下、表面の擦れ、毛羽の発生などの問題がありました。

【課題解決のポイント】

本発明は、従来のニット・デニット法(写真1)とは異なり、複数のループを組合わせて筒編状に形成した加工糸(写真3右側)から、末端の糸とループを規則的に組み合わせ集束(写真2)させることを特徴とします。

【技術の概要】

本技術により、極めて高いストレッチ性と嵩高性を持ったソフトで風合いに優れる繊維(写真3左側)が得られるため、服地、寝具等として広く利用できる可能性があります。



写真1 従来技術（ループ保持なし）



写真2 新技術（ループ保持あり）



写真3 デニット（解編）前後の嵩高性の違い（同重量）

- 実施許諾 要相談（未審査請求）
- 共同研究等 可能
- 事業化の実績 なし

連絡先：福島県ハイテクプラザ 産学連携科 024-959-1741